



最新の下関の自然史に関することや当館が得た標本のこと、新たな標本作成方法や採集道具の作り方などをわかりやすく、簡単に紹介した展示の説明用のチラシです。

発行：
令和元年12月20日

下関の海浜で見られるヒョウタンゴミムシ

- ①ヒョウタンゴミムシ：体長15～19mm。海岸性種。打ち上げられた海藻や流木の下、砂の中に潜んでいます。夜間活動し、ハマダンゴムシなどを捕食します。
- ②ホソヒョウタンゴミムシ：体長18～20mm。下関からは見つからないヒョウタンゴミムシですが、県内からは記録があるので、見つかるかもしれません。
- ③ナガヒョウタンゴミムシ：体長15～19mm。草地や畑などにふつうに見つかる。海辺では、波が直接かぶらない場所にたまった海藻や流木の下で見つかります。ヒョウタンゴミムシより細いので区別できます。
- ④オオヒョウタンゴミムシ：体長28～38mm。島根県の海岸などでは見つっていますが、山口県からは見つからない、とても大型のヒョウタンゴミムシです。

【ヒョウタンゴミムシの区別点】

